

会 議 名	第二回 小学校移動教室・夏季学園等運営業務委託事業候補者選考委員会
開催日時	令和6年10月31日（木曜日）午前10時から正午まで
開催場所	港区役所7階 教育委員会室
委 員	一般財団法人言語教育振興財団理事 輿水委員長 学校教育部長 吉野副委員長 帝京大学大学院 教職研究科 准教授 石井委員 早稲田大学教育総合科学学術院大学院名誉教授 油布委員 学校施設担当課長 井谷委員
事 務 局	学校教育部学務課長 鈴木 学校教育部学務課学校運営支援係長 上野 学校教育部学務課学校運営支援係 青天目 学校教育部学務課学校運営支援係 田中
会議次第	1 開会 2 第一次審査結果について 3 第二次審査について 4 その他 5 閉会
配付資料	〔席上配付〕 ・ 次第 ・ 資料1 選考方法 ・ 資料2 小学校移動教室・夏季学園等運営業務委託事業候補者選考一次審査集計結果 ・ 資料3 第3回選考委員会進行スケジュール（案） ・ 資料4 小学校移動教室・夏季学園等運営業務委託プロポーザル第二次審査の実施に関する留意事項（案） ・ 資料5 第二次審査採点基準表（案） ・ 参考 第1回小学校移動教室・夏季学園等運営業務委託事業候補者選考委員会議事録
会議の内容	
委員長	1 開会 ・ 配布資料確認 2 第一次審査結果について 次第の2、第一次審査結果について事務局から説明をお願いします。

事務局	(事務局から資料1から資料2について説明)
委員長	採点内容に誤りはなかったでしょうか。また、事務局採点としている事項についてご質問等ございますか。
全委員	(異議なし)
委員長	続いて、各委員の採点で、評価したポイントなど、各委員から順番に全体の講評をお願いした後、各委員間で点数が開いている事項について、各委員の評価理由等を確認したいと思います。全体の公表は時計回りで実施したいと思いますのでA委員からお願いします。
A委員	全体的には合格点だと思います。ただ、様式7の2で移動教室・夏季学園・特別支援学級合同移動教室での見学施設の提案内容が、現在高原学園で提案している自主事業の転用になっているところから事業者の独自性が感じられない点、また、特別支援学級に金時山は本当に大丈夫かという点で精査が甘く感じられたので得点を低くつけています。 一方で、提案書にはクラウドの活用についても提案されており、学校現場からすると手間が減ってありがたいことだと思うので得点を高くつけています。
B委員	業務実績が豊富にあるところから、手堅さを感じられました。宗教食の対応に関して記載はなかったものの、全体的にも高評価となっています。
E委員	本社の体制や緊急時の役割分担、担当者の業務実績から信頼できる事業者だと感じました。ただA委員と同様に、見学施設の提案内容は具体性に欠ける印象を持ちました。
D委員	複数者の応募ですと比較ができますが今回の応募が一社なので、本当に任せられるところなのか、応募事業者のことをより詳しく確認していく必要があると思います。そのような視点で評価をしましたが、全体的には信頼できる事業者だと思います。 今回の委託化に伴い委託事業者が関わるので、A委員、E委員がおっしゃるような見学施設の提案の具体性という問題はあると思いますが、移動教室・夏季学園等の歴史も長く、学校も成熟していることから学校側から積極

	的な提案も期待できるので、大きく影響はしないかなと感じた点、緊急時の対応や連絡体制、バスの安全性の点ではかなりしっかりしているように感じられ採点に反映させています。
C委員	一社ということを踏まえて比較はせず、普通であることをベースにいい点、心配な点を評価に反映させました。業務実績、社内の体制、バスの手配が安定しているという点では全体としてはお任せしてもいい事業者ではないかという印象を抱きました。他の委員と比べ、評価の差がついている項目が多いので個別の項目の評価についてはのちほどお話しさせていただきます。
委員長	皆様、ご講評ありがとうございます。続いて、各委員間で点数が開いている事項について、各委員の評価理由等を確認したいと思います。 まず、「安全・安心を確保するための基本的な考え方」についてはいかがでしょうか。
C委員	夏に本番を実施する学校もあるので、近年の暑さから熱中症など予期せぬような事件・事故もあるイメージをどの程度できているかという視点で、熱中症や関連する言葉がなかった点が気になりました。予期していないことはその対応が遅れることでもありますので、評価を少し落としています。
B委員	必要な事項が網羅されているかという視点で大きな瑕疵はないと捉え、評価しています。
E委員	基本理念については募集要項の内容が転写されているので、理念を十分に理解しているという前提に立っています。その中で、積極的な情報発信について述べられており、出発前の安心感の提供は保護者の方が事業について知る機会にもつながることからやや高い評価としました。
委員長	ありがとうございます。つづいて、「宿泊行事が初めての児童、宗教等により特別な配慮を要する児童への対応」についてはいかがでしょうか。
A委員	B委員も述べていましたが、港区の特性は宗教食だと思っています。宗教食の児童への対応はとても難しいですが、項目に書いてあることに対して記載がなかった点から精査不足と捉えて評価を低くしました。

E 委員	初めて宿泊行事を行う児童への対応で、事前準備や予備シート持参の提案や、アレルギー対応に関しても三者チェックの徹底や調整フォームでの個別対応の提案もあったことから提案に具体性を感じられ、少し高い評価としています。
C 委員	E 委員と同様、細やかなアレルギー対応が評価できました。宗教食に関する記載はないものの配慮する姿勢は提案内容からうかがえたことからやや優れた評価としています。
委員長	ありがとうございます。つづいて、「事業実施に向けた各種手配等のスケジュールの確実性」についてはいかがでしょう。
B 委員	比較対象がなくて評価が難しかったのですが、すべての宿泊行事に対応できるようなスケジュールで組まれていたので安心感から高い評価をつけました。
A 委員	年間スケジュールを見る限り、実施は問題なくできると思いますが、それ以上の工夫や優れた点が見受けられなかったことから普通の評価としました。
C 委員	スケジュール感の最低基準は十分クリアしていると思います。ただ特に優れているものではなかったところから普通と捉えました。
委員長	ありがとうございます。つづいて、「事故、急病、災害、食中毒等のトラブルが発生した場合の対応」についてはいかがでしょう。
C 委員	前述の「安全・安心を確保するための基本的な考え方」と連動した評価で心配だと思いましたのでやや低く評価しました。
A 委員	少し評価を高くしたのが、マスコミ対応に触れていることです。他にない踏み込んだ提案であること、学校も助かると思いますので評価を高くしています。
B 委員	組織の機能分担が明確になっていて、責任の所在をはっきりさせている点が事業者として信頼できると思い、高く評価しました。

E委員	B委員と同じく、事故発生時の会社としての本部機能分担が明確になっていると思います、評価しました。
D委員	B委員、E委員と同じく社内体制の整備という観点から高く評価しています。
C委員	社内体制は整備されている認識ですが、学校行事として一般の対応とは異なる特殊性があることから、学校に特化した対応を意識してほしいと感じやや低い評価理由を付け加えさせていただきます。
委員長	ありがとうございます。つづいて、「個人情報保護に関する考え方と具体的な取り組み」についてはいかがでしょうか。
B委員	マネジメントシステムを確立し、厳守する方針は伝わりましたが、具体的にどう実施していくか、網羅はされているものの具体性が欠けると判断して低く評価しています。特にこちらの事業者は人数が多く、役職や所属によって対応は異なると思いますが、異なるケースに応じた対応等がなくスローガンのようになっていたように感じました。
E委員	普通の評価としていますが、提案内容を見る限り一般論を超えるようなものではなかったと思います評価しています。
C委員	評価には少し悩みましたが、全体的には体制が整備され高い意識がうかがえたので少し高い評価としました。
委員長	差があった項目については理由が整理できたと思います。差がなかったところも含めて、補足説明や質問等ございますか。
B委員	実地踏査のコースはタイトなスケジュールで多くの施設を巡っているのに対して、本番プランの提案では巡る施設の数や場所が大きく異なるようですが、双方の意義にはどのような違いがあるのでしょうか。
事務局	実地踏査については小学校全校の教諭が一同に集まって実施しますので、学校によって訪れる予定の施設、訪れないかもしれない施設など学校の想定している本番のプランに差があることから、なるべく広く多くの施設を含め回るようにしている現状です。特定の施設の中身を厳選するというより

	は、危険箇所やトイレの箇所等を一とおり確認して回ることになります。 一方で本番プランの提案では、体験学習等も想定されることから訪れる施設は2～3か所程度になろうかと思しますので、ある学校が1泊もしくは2泊で本番を迎える場合のプランとして提案いただいているものとなります。
B委員	ありがとうございます。違いは理解できた反面、先生たちが学校ごとに個別に現地へ赴く実地踏査もあるので、個別にいく方が自由度が高く学校にとってはいいのかといった印象も持ちました。
A委員	多くの学校が共通して実地踏査でいきたい箇所が実地踏査のコースに反映されていると思います。学校は共通のコースに加えてオリジナルのプランがあるのでそれについて詰めていく印象だったと思います。
C委員	実地踏査のコース提案に関しては、学校個々の事情により寄り添っていただいたり、せっかく事業規模の大きい事業者なので、既存のコースではなく新機軸の提案があって、学校が提案を受けて検討することがあっていいと思いました。
A委員	提案書類「基本理念や安全・安心を確保するための基本的な考え方」の部分では、「安全確保体制の更に拡充」、「運営体制の整備」については、具体的にどう考えているのか、プレゼンテーションの場で伺いたいと思います。
B委員	A委員がおっしゃるとおり、基本理念なので仕方ないところはあると思いますが、どこかで具体的な考えを出していただけるとより安心すると思います。
B委員	本番のモデルプランに関する提案ではアイスクリーム作りやパラコード作りといった提案がされていますが、せっかく自然の中に活動に来ているので、実際は学校と調整するのだとは思いますが、もう少しアイデアがあってもいいのかなと思いました。
事務局	今回の募集にあたって、移動教室・夏季学園・特別支援学級合同移動教室の趣旨を理解していただくために募集要項の冒頭に各事業の概要を記させて頂きましたが、今回の提案では移動教室と夏季学園のプランが逆になっているような印象を事務局では受けております。プレゼンテーションでの質疑になるかは分かりませんが、最終的に今回の事業者が候補者となり、仮に認

	識の相違があった場合は、教育委員会事務局と事業者の間で調整し、認識をすり合わせて参ります。
C委員	安心・安全の観点でいくと、サルやクマなどの野生動物の出現、スズメバチに刺されるといったことをイメージできているかという点も次回の評価のポイントになってくるのではないかと思います。
A委員	様式8の見積書、バス手配（移動教室）とバス手配（夏季学園）で単価に差があるのはどういったことが考えられますか。
事務局	移動教室は2泊3日、夏季学園は1泊2日ですので、長い間バスを抑えている移動教室の方が単価が高くなっており、単価差が生じているものと捉えています。
委員長	そのほか、ご意見ご質問等ございますでしょうか。
全委員	（異議なし）
委員長	それでは、意見交換を踏まえ、自身の採点について振りかえる時間を設けます。採点を変更する場合は、お手元の採点表の原本に朱書きで修正してください。変更の有無にかかわらず、5分後を目安に事務局が回収し、再度集計します。 （委員による振り返り/採点表提出）
委員長	採点に変更がありましたので、事務局で再度集計をお願いします。 （事務局再集計/修正後の際再配布）
委員長	事務局から採点の修正箇所を報告してください。
事務局	各委員の採点修正箇所は次のとおりです。 （1）安全・安心を確保するための基本的な考え方について、B委員が16点から12点に変更しました。 （2）実地踏査コースの提案内容の妥当性についてB委員が12点から8点に変更しました。

	(3) 宿泊行事が初めの児童、宗教等により特別な配慮を要する児童への対応についてC委員が16点から12点に変更しました。 (4) 年間スケジュールについて、B委員が20点から16点に変更しました。 (5) 事故、急病、災害、食中毒等のトラブルが発生した場合の対応について、C委員が8点から12点に変更しました。 (6) 個人情報保護に関する考え方と具体的な取り組みについて、C委員が10点から8点に変更しました。 採点修正後の加点項目を抜いた点数が890点、これが点数全体の68.5%で6割を超えています。加点項目を入れると900点です。 二次審査へ進む基準が60%ですが、この事業者は今時点で基準を超えています。
委員長	A事業者は、二次審査に進むということでよろしいですか。なにかご意見等ございますか。
全委員	(異議なし)
委員長	それでは、A事業者を一次審査通過者と決定します。
委員長	3 第二次審査について 次第の3、第二次審査について事務局から説明をお願いします。 (事務局から資料3から資料5について説明)
委員長	まず資料3と4について、ご意見ご質問等ございますか。プレゼンテーション及び質疑応答の時間、参加人数は提案とおりでよろしいでしょうか。
全委員	(異議なし)
委員長	資料5「第二次審査採点基準表(案)」についても提案とおりでよろしいでしょうか。
全委員	(異議なし)

委員長	では、資料のとおり進めることとします。 4 その他 次回開催日：令和6年11月26日（火）13時～
委員長	5 閉会 以上をもちまして第2回選考委員会を閉会します。お疲れ様でした。